



昨年4月に岐阜保健大副学長に着任し、常勤の教授として公衆衛生看護学・在宅看護学を教える石井英子さん(78)＝愛知県春日井市＝。「岐阜の実情にあった地域医療を推進したい」と

看護職、後進育成に力

意気込む。

秋田県出身。名古屋市の保健師を30年以上務めた経験を生かして、60代からは大学などで後進育成に努めてきた。椋山女学園大の看護学部設置に携わったほか、岐阜保健大開学にも関わった。

「今後、看護職の役割は増していく。赤ちゃんから高齢者までの健康増進のために健康課題を認識し、マネージメントできる看護職を育成したい」と力を込める。